

資料番号④

唐津市280MHz デジタル同報無線
システム転換工事

競争入札参加資格設定説明資料

入 札 方 法		条件付一般競争入札（電子入札）
競争入札参加資格設定方法等	工 事 名	唐津市280MHzデジタル同報無線システム転換工事 （令和7年5月19日入札分）
	工 事 場 所	唐津市内一円
	工 事 概 要	280MHzデジタル同報無線システム転換工事 一式
	業 種	電気通信工事
	予 定 価 格（税抜）	643,550,000円
	最低制限価格（税抜）	592,066,000円
	競争入札参加資格設定の考え方	次の構成員により共同企業体を結成すること。 1 代表者の主な要件 （1）電気通信工事に係る入札参加資格の格付けがA級であること。 （2）電気通信工事について、申請日前10年間に、市又は国若しくは他の地方公共団体と契約金額が3億5,400万円以上の契約を元請けとして締結し、かつ、これを誠実に履行した実績を2件以上あること。 （3）申請日前10年間に、280MHzデジタル同報無線の工事の契約を元請（共同企業体の場合は代表者としての契約に限る。）として締結し、かつ、これを誠実に履行した実績を有すること。 2 その他構成員の主な要件 （1）電気工事に係る入札参加資格の格付けがA級であること。 （2）唐津市内に本店があり、かつ、入札参加資格について、当該本店での登録を受けていること。 （3）電気工事について、申請日前10年間に、市又は国若しくは他の地方公共団体と契約金額が850万円以上の契約を元請けとして締結し、かつ、これを誠実に履行した実績があること。

入札の経緯及び結果	入札期間	令和7年5月14日から令和7年5月19日まで
	応募者数	1者
	失格者及びその理由	なし
	入札参加者数	1者
	開札日	令和7年5月19日
	入札回数	1回
	契約日	令和7年6月23日 ※市議会の議決による
	契約業者名	電気興業・サデック共同企業体
	契約金額(税抜)	642,000,000円
	落札率	99.76%
備考 当初工期 令和7年6月23日～令和8年3月31日		

第2号様式（第7条関係）

入札内容成績表

工事（業務）の名称	唐都建工第1号 唐津市280MHzデジタル同報無線システム転換工事
入札方式	条件付一般競争入札（電子入札）
工事（業務）場所	唐津市 市内一円 地内
契約期間	請負契約締結の日から 令和8年3月31日 まで
入札執行課名	契約検査課
入札日	令和7年5月19日（月） （開札日）
予定価格（税抜）	¥643,550,000.-
最低制限価格（税抜）	¥592,066,000.-

指名した者の商号又は名称 （入札者）	入札金額（千円）			備考
	第1回	第2回	第3回	
電気興業・サデック共同企業体	642,000	落札		

（注）上記金額に100分の10に相当する額を加算した金額が、唐津市財務規則
上の申込みに係る価格である。

(指名理由)

選定理由への回答書

工事（業務）名	唐津市280MHzデジタル同報無線システム転換工事
選 定 委 員	赤星委員、木下委員、河野委員、宗委員
選 定 理 由	・ 今期最高額の工事である。契約額の算定から落札に至る経緯の説明が欲しい。 ・ 高額なので、内容を知りたい。 ・ 高額であり、一社応札であるため、工事内容及び共同企業体形成要件・形成可能性について知りたい。 ・ 高額工事のため入札状況を知りたい。
回 答 文	本工事では、整備から10年を超えるデジタル同報無線システムを更新する際に、既存の60MHzから、280MHzへと転換するものである。 工事箇所は286箇所、これは唐津市の全域にわたる。 施工内容としては、この286箇所の屋外拡声装置の機器収納ボックスの中身を、バッテリーとともに交換するが、機器が設置されている柱のうち、29箇所は劣化がひどいため建て替え、サビや傷がある143箇所は補修する。 このように広範囲にわたり多くの箇所を工事するものであるため、高い設計額となっている。 入札公告から落札までの状況であるが、まず共同企業体の募集を公告し、1組の結成があった。（結成要件は、競争入札参加資格設定説明資料のとおり） そして、この1組が応札し、落札したものである。 なお、共同企業体の結成可能性としては、少なくとも5組の結成可能性があった。

資料番号⑤

鏡中学校グラウンド整備工事

競争入札参加資格設定説明資料

入 札 方 法		条件付一般競争入札（電子入札）
競争入札参加資格設定方法等	工 事 名	鏡中学校グラウンド整備工事 (令和7年7月17日入札分)
	工 事 場 所	唐津市鏡地内
	工 事 概 要	(1) グラウンド整備工 A=17,307㎡ (2) 防球設備工 一式 (3) 排水構造物工 一式 (4) 付帯施設工 一式
	業 種	土木一式工事
	予 定 価 格 (税抜)	289,890,000円
	低入札調査基準価格 (税抜)	265,237,000円

	競争入札参加資格 設定の考え方	次の構成員により共同企業体を結成すること。 1 代表者の主な要件 (1) 土木一式工事に係る入札参加資格の格付けが特A級であること。 (2) 唐津市内に本店、支店、営業所等があり、かつ、入札参加資格について、当該本店、支店、営業所等での登録を受けていること。ただし、支店、営業所等については、唐津市条件付一般競争入札における入札参加資格要件取扱要綱（平成30年告示第43号）第4条の規定による認定準市内業者の登録を受けていること。 (3) 土木一式工事について、申請日前10年間に、市又は国若しくは他の地方公共団体と契約金額が1,750万円以上の契約を元請けとして締結し、かつ、これを誠実に履行した実績を2件以上あること。 2 その他構成員の主な要件 (1) 土木一式工事に係る入札参加資格の格付けがA級であること。 (2) 唐津市内に本店があり、かつ、入札参加資格について、当該本店での登録を受けていること。 (3) 土木一式工事について、申請日前10年間に、市又は国若しくは他の地方公共団体と契約金額が1,750万円以上の契約を元請けとして締結し、かつ、これを誠実に履行した実績があること。
入札の経緯及び結果	入札期間	令和7年7月14日から令和7年7月17日まで
	応募者数	1者
	失格者及びその理由	なし
	入札参加者数	1者
	開札日	令和7年7月17日
	入札回数	1回
	契約日	令和7年9月24日 ※市議会の議決による
	契約業者名	唐津土建・釘本共同企業体
	契約金額（税抜）	285,000,000円
	落札率	98.31%
備考	当初工期	令和7年9月24日～令和8年7月31日

第2号様式 (第7条関係)

入札内容成績表

工事（業務）の名称	唐都二受第104号 鏡中学校グラウンド整備工事
入札方式	条件付一般競争入札（電子入札）
工事（業務）場所	唐津市 鏡 地内
契約期間	請負契約締結の日から 令和8年7月31日 まで
入札執行課名	契約検査課
入札日	令和7年7月17日（木） （開札日）
予定価格（税抜）	¥289,890,000.-
低入札調査基準価格 （税抜）	¥265,237,000.-

[illegible]

(注) 上記金額に100分の10に相当する額を加算した金額が、唐津市財務規則

上の申込みに係る価格である。

(指名理由)

工事説明表

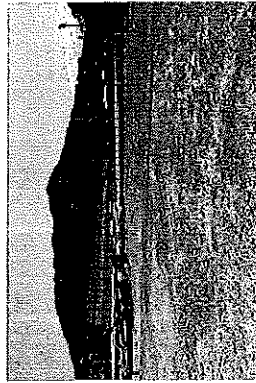
発注課: 第二工務課

工事名	鏡中学校グラウンド整備工事
施工場所	唐津市 鏡 地内
工事説明	【工事概要】 鏡中学校の校舎長寿命化改良他工事の実施にあたり、グラウンド内に建設した仮設校舎の影響や整備当時から相当の年数を経過したことにより排水機能が低下していること、防球ネットが経年劣化により破損していることなどから整備するもの。 【構造・規模】 舗装面積A=17,307㎡、防球設備工 一式、排水構造物工 一式、付帯施設工 一式 【工事内容】 舗装工事…クレ―舗装 A=17,307㎡、暗渠排水工 L=1683.3m 排水構造物工…自由勾配側溝 L=529.6m、集水桝 N=4基 付帯施設工… 防球ネットL=443.4m(H=5.0m・10.0m)、バックネットL=10.0m(H=5.0m)、砂場設置 N=1基、外周フェンス L=523.8m

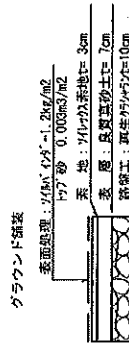
現況写真①



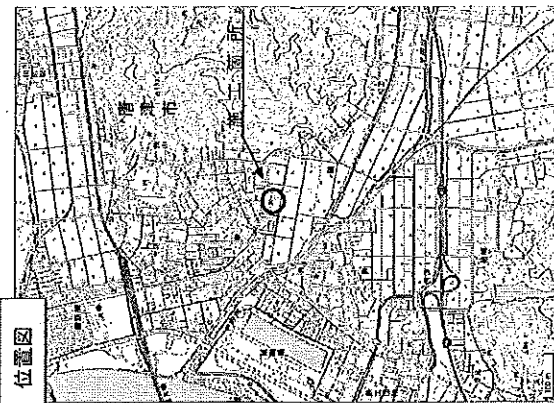
現況写真②



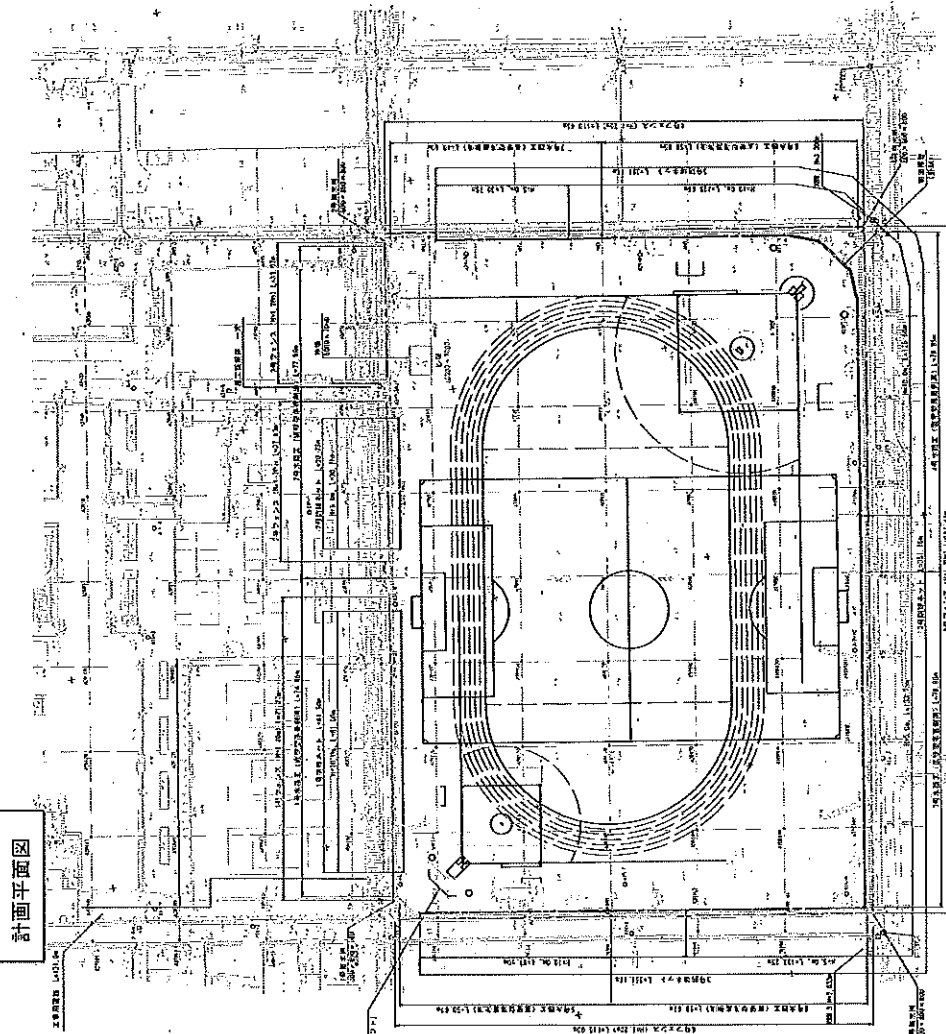
舗装構成図



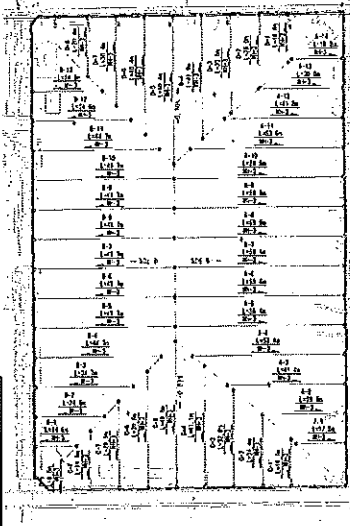
位置図



計画平面図



排水計画図



選定理由への回答書

工事（業務）名	鏡中学校グラウンド整備工事
選 定 委 員	帯屋委員、木下委員、河野委員
選 定 理 由	・ 難工事ではなさそうであるが、高額、高落札率、1社入札となっているため。 ・ グラウンド整備の内容を知りたい。 ・ 高額であり、1社応札であるため、工事内容及び共同企業体が複数となる可能性を知りたい。
回 答 文	本工事の内容は、グラウンド整備工、防球設備工、排水構造物工、付帯施設工である。 グラウンド整備工は、クレイ舗装を行うものである。 防球設備工は、防球ネットとバックネットの設置を行う。 排水構造物工は、グラウンド周囲に「自由勾配側溝」を設置する。四隅に集水枡を設けて、そこから排水する。グラウンド内の排水については、10mピッチで0.3m程度の深さに暗渠排水を埋設して、自由勾配側溝で受けて排水する。 付帯施設工は、付帯施設として、砂場、外周フェンス、ピッチャーマウンド等を設ける。 特殊な技術が求められる工事ではないが、グラウンドの整地費用だけでなく、排水のための水路の費用、防球ネット自体の価格等と合わせて高額になっているものである。 本工事が、土木一式工事の特A級とA級の2社からなる共同企業体による入札ということで、最大6組の共同企業体が結成可能であったところ、実際にされたのが1組のみであった。土木一式工事の発注数が多く、技術者・現場代理人の配置が可能だった業者が限られたことが、1組のみの結成、1者応札につながったものと考えられる。 落札までの流れとしては、本工事は総合評価落札方式を採用しており、応札価格のみならず、施工実績、市内貢献等を含めて点数を付け、最高評価値者を落札者としている。

資料番号⑥

新ごみ処理施設整備基本計画策定等
支援業務

新ごみ処理施設整備基本計画策定等支援業務

1 目 的

ごみ処理施設の整備に係る基本的な方針を定める施設整備基本計画の策定や環境影響評価などを行う業務であり、ごみ処理施設に係る高度な専門知識、経験及びノウハウが必要となるほか、複数の業務によって構成されていることから、業務遂行にあたって、柔軟な発想や業務間の連携かつ確実な遂行力を有する事業者の支援を受けることにより、効率的かつ効果的に業務を実施するものである。

2 業務概要

- (1) 新ごみ処理施設整備基本計画策定業務 [R6～R7]
- (2) 循環型社会形成推進地域計画策定業務 [R7]
- (3) 一般廃棄物処理基本計画（見直し）業務 [R7]
- (4) 新ごみ処理施設整備に係る環境影響評価業務 [R7～R10]
- (5) 新ごみ処理施設 PFI 等導入可能性調査業務 [R8]

3 委託期間

契約締結日から令和11年3月30日まで

4 予定経費

金264,836,000円 [設計金額]

(うち消費税相当額及び地方消費税相当額 金24,076,000円)

※ 令和6年度の支出限度額は、次の範囲内とする。

金10,703,000円

(うち消費税相当額及び地方消費税相当額 金973,000円)

※ 債務負担行為限度額（令和6年3月議会において設定済）

金255,365,000円（令和7年度から令和10年度まで）

5 契約金額

金260,480,000円

(うち消費税相当額及び地方消費税相当額 金23,680,000円)

・令和6年度 金6,457,000円

(うち消費税相当額及び地方消費税相当額 金 5 8 7, 0 0 0 円)

・令和 7 年度 金 4 2, 7 6 8, 0 0 0 円

(うち消費税相当額及び地方消費税相当額 金 3, 8 8 8, 0 0 0 円)

・令和 8 年度 金 2 9, 9 0 9, 0 0 0 円

(うち消費税相当額及び地方消費税相当額 金 2, 7 1 9, 0 0 0 円)

・令和 9 年度 金 1 7 1, 7 2 1, 0 0 0 円

(うち消費税相当額及び地方消費税相当額 金 1 5, 6 1 1, 0 0 0 円)

・令和 1 0 年度 金 9, 6 2 5, 0 0 0 円

(うち消費税相当額及び地方消費税相当額 金 8 7 5, 0 0 0 円)

6 プロポーザル参加業者【5 者】

パシフィックコンサルタンツ株式会社佐賀事務所 他 4 者

7 参加業者選定の理由

公募型プロポーザル手続きの開始について公告し、期限までに参加応募があった事業者が参加資格を満たしていたため選定したもの。

8 契約業者選定の詳細の内容

参加表明書及び審査書類についての応募者は 5 者であり、本業務実施要領では応募者が 5 者以下の場合は、すべての参加者について、①書類審査、②プレゼンテーション及びヒアリング審査並びに③価格審査を行うこととしていたことから、5 者に対して審査を行った。

プロポーザルの審査については、①書類審査として、会社業務実績（5 点）、配置技術者の業務実績（9 点）、業務の理解度（7 点）、技術提案書（5 2 点）、業務工程表（7 点）の計 8 0 点、②プレゼンテーション及びヒアリング審査として 1 5 点、③価格審査として 5 点の合計 1 0 0 点で評価を行うものとした。

採点については、事務局のほか新ごみ処理整備基本計画策定等支援業務プロポーザル審査委員会を設置し、6 名の審査員で評価を行った。

審査評価された総合評価点の最優秀者の得点は 4 4 8. 0 点、優秀者の得点は 3 8 8. 2 点であった。最低基準としていた 3 0 0 点を上回っていたことから、最優秀者を優先交渉権者として決定した。

選定理由への回答書

工事（業務）名	新ごみ処理施設整備基本計画策定等支援業務
選 定 委 員	赤星委員、木下委員、河野委員、宗委員
選 定 理 由	・ 契約業者の提案の審査内容、結果を知りたい。 ・ 価格が高い。内容を知りたい。 ・ 業務内容、選定経過及び高額となる理由を知りたい。 ・ 高額な業務金額のため契約内容を知りたい。
回 答 文	【選定経過】 本業務は、ごみ処理施設に係る高度な専門知識、経験及びノウハウが必要となるほか、複数の業務によって構成されており、業務遂行にあたって、柔軟な発想や業務間の連携かつ確実な遂行力を求められることから、価格のみによる競争では目的を達成できない業者が選定される可能性がある。このことから、専門的な知識及び経験等を有する業者を公平に評価し、企画競争によって受注候補者を選定するため、公募型プロポーザル方式による公告を行ったもの。 [公募型プロポーザルのスケジュール] ①実施伺い [R6. 12. 2] ②プロポーザル手続き開始の公告 [R6. 12. 18] ③参加表明書の提出期限 [R6. 12. 27] ④プロポーザルに係る審査書類の提出期間 [R6. 12. 18～R7. 1. 17] ⑤プロポーザル審査委員会 [R7. 1. 29] プロポーザル審査委員会による審査により最優秀者等の決定 [最優秀者] パシフィックコンサルタンツ（株）佐賀事務所（448.0 点） ※ 委員 6 人による審査 ※ 評価点は 600 点満点（最低基準 300 点） ⑥プロポーザル審査結果通知 [R7. 1. 30] ⑦プロポーザル審査結果公表 [R7. 1. 31] ⑧見積書提出 [R7. 2. 25] ⑨決定通知 [R7. 2. 25] ⑩契約締結 [R7. 2. 28]

【契約業者の提案の審査内容及び結果】

〔受注者〕 パシフィックコンサルタンツ（株）佐賀事務所

・審査結果

項 目	配 点	得 点
会社業務実績	5 点	448 点
配置技術者の業務実績	9 点	
業務の理解度	7 点	
技術提案書（4つのテーマ）	52 点	
業務工程表	7 点	
プレゼンテーション及びヒアリング	15 点	
価格審査	5 点	448 点 (600 点)
合計（事務局と6委員の計600点満点）	100 点	

・技術提案書で求める4つのテーマ

- ①実施体制、実施方針、具体的内容、課題及び対応方策について
- ②施設建設費の低コスト化に向けた方策について
- ③ゼロカーボンシティの実現に向けた施設のコンセプトについて
- ④その他の独自提案について

【業務内容】

1 新ごみ処理施設整備基本計画策定業務 [R6～R7]

新ごみ処理施設整備基本構想を踏まえ、施設の整備に係る基本的な方針（計画ごみ質等の設定や主要設備等の検討など）を定める計画を策定するもの。

2 循環型社会形成推進地域計画策定業務 [R7]

計画対象地域の廃棄物等の現状を把握し、3R（リデュース、リユース、リサイクル）推進目標を実現するために必要な計画を策定するもの。

3 一般廃棄物処理基本計画（見直し）業務 [R7]

廃棄物の処理及び清掃に関する法律において、計画策定義務とされている本市の一般廃棄物処理（ごみ及び生活排水）の基本となる計画を策定（見直し）するもの。

4 新ごみ処理施設整備に係る環境影響評価業務 [R7～R10]

施設を整備するにあたり、環境（大気、水質、騒音、振動及び悪臭

	など) への影響を評価するもの。 5 新ごみ処理施設 PFI 等導入可能性調査業務 [R8] ごみ処理施設の整備・運営手法などを選定するため、定性評価(事業方式の比較)及び定量評価(事業費の比較)により、本事業への民間活力導入の可能性を調査し、最も経済的及び効率的な事業方式を選定するもの。 【契約金額が高額の理由】 一括契約を行った5つの業務の中で一番高額となっている業務は、「4 新ごみ処理施設整備に係る環境影響評価業務」に係る費用であり、契約金額の約81%を占めています。 この業務の高額の主な理由としましては、新ごみ処理施設を整備することで周辺の環境にどのような影響があるのか予測・調査するもので、令和7年度から令和10年度の4ヵ年をかけて、配慮書、方法書、準備書、評価書を作成することとしています。 また、令和8年12月から令和9年11月までの1年を通じて、準備書作成のために必要な現地調査を実施するための費用(人件費や調査測定機器損料)等が高額となる理由です。
--	---